

校長室だより第7号（令和8年5月19日）

全校遠足に行ってきました。

5月15日（金）に、全校遠足（徒歩で加曽利貝塚に行く）へ、たてわり班（1～6年生の異学年集団）で行ってきました。

朝は少々肌寒いくらいで、私が願った通りの天候となり、心の中でガッツポーズを取りました。快晴だと暑くなりすぎて熱中症が心配になるからです。

朝の校門では、子どもたちがいつも以上に嬉しそうに登校してきます。やはり、『遠足』の力はすごいと感じ入りました。

各教室で健康観察を済ませた後、グループごとに校庭に集合しました。みんなわくわくした顔をしているのですが、静かに並ぶことができ嬉しくなりました。静かに整列できたのは水曜日に並び方の練習を何度も行ったおかげです。少々地味な練習なのですが、その成果が早速表れました。キャプテンたち（6年生）ありがとう。

計画委員会が出発式を運営しました。あいさつや諸注意を朝礼台の上で行ったのですが、きっと影でたくさんの練習をしたのでしょう。誰もが堂々と自分の役割を果たすことができました。私の話よりも上手だったと思います。校長の話の中で、まず最初に計画委員会の頑張りを大いに褒めました。

そして出発式の終わりに、計画委員会が「しゅっぱつ～～～～」と関の声（？）をあげると、全員で「しんこう！」と応えました。

チームごとに加曽利貝塚に向けて出発です。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生が手をつなぎ、列を崩さず進んでいきます。800人の移動はなかなか壮大でした。私は真ん中あたりを歩いたのですが、先頭も最後尾も全く見えませんでした。

歩道には所々に保護者の皆さんが立っていてくれて、子どもたちに手を振ってくれました。なんだかマラソンを走っている気がしてしまいました。

しばらく歩くと坂月川に出ました。急に風景が変わり驚きました。その土手を進み、橋を

渡ると加曽利貝塚です。私の周りの子どもたちは誰も疲れたとは言わず楽しそうに歩いていました。

決められた広場に荷物を置いて、水分補給やトイレを済ませ、遊びの時間です。

つづく